

# 上からのチェンジ

---

シリーズ～チェンジ～

2016/9/11

## ヨハネ福音書3章1～15節

さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。ある夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようななしるしを、だれも行うことはできないからです。」

イエスは答えて言わされた。「はっきり言っておく。人は、**新たに生まれなければ**、神の国を見るることはできない。」

ニコデモは言った。「年をとった者が、どうして生まれることができましよう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるのでしょうか。」

# ヨハネ福音書3章1～15節

イエスはお答えになった。「はっきり言っておく。だれでも水と靈とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。肉から生まれたものは肉である。靈から生まれたものは靈である。『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。靈から生まれた者も皆そのとおりである。」

するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と言った。

# ヨハネ福音書3章1～15節

イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からぬのか。はっきり言っておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証ししているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。天から降つて来た者、すなわち人の子のほかには、天に上った者はだれもない。そして、モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためにある。

# イエス様に会いに来たニコデモ

- ・**ファリサイ派の重鎮で,議員でもあった**

- ・社会的地位もあり,人々にも知られていた

- ・ファリサイ派はイエス様を目の敵にしていた

- ・**「夜」来たのは,人目をはばかってのこと**

- ・イエス様に会いに来たことを知られたくないかった

- ・**それでもイエス様に会いたかったのはなぜか**

- ・イエス様を「神のもとから来られた教師」と認めていた

- ・それはイエス様の「しるし(奇跡)」に驚嘆したから

- ・ニコデモは,律法によっても,政治によっても手に入れることのできない何かをイエス様から得ようとした!

# かみあわない会話

## ・イエス様からの先制パンチ

- ・「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」
- ・ニコデモは「**神の国の到来**」を願っていることをイエス様は見抜かれた!
- ・「新たに生まれる」:このまま続けていてもダメ!
- ・「新たに」と訳されている言葉は“**上から**”の意味も
- ・**ニコデモはイエス様の言葉を理解ない**
  - ・「年をとった者が、どうして生まれることができましょ  
う。もう一度母親の胎内に入って生まれることがで  
きるでしょうか。」

# かみあわない会話

- ・イエス様の第2矢

- ・「だれでも水と靈とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない」
- ・母親の胎内に戻るのではなく、**神の(靈)**によって生まれ変わらなければならぬ

- ・全く理解できないニコデモ

- ・「どうして、そんなことがありえましょうか」
- ・ニコデモはこの世の尺度でしか考えられない

# かみあわない会話

- ・**がっかりされるイエス様**

- ・「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からぬのか。」

- ・「わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。」

- ・**イエス様だけが天の(神の)真理を啓示する**

- ・「天から降って来た者、すなわち人の子(イエス様)のほかには、天に上った者はだれもない。」

# 降ってこられた方が上げられる

## ・なぞの言葉

- ・「モーセが荒れ野で蛇を上げたように、**人の子も上げられねばならない**。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。」

## ・モーセが荒れ野で上げた蛇(民数記21章)

- ・出エジプトの途中、民が神とモーセに激しく逆らったので、主は「炎の蛇」を送られた。蛇にかまれた者がモーセが竿先に掲げた青銅の蛇を仰ぐと癒された
- ・**神を見上げ、助けを求めて癒された**
- ・イエス様は自分も「上げられる」と予告された
- ・自分を信じる者が永遠の命を得るため

## 迷うニコデモ(7章)

- ・祭司長とファリサイ派はイエス様を捕らえようと下役たちを遣わすが、空手で帰ってくる
  - ・「どうして、あの男を連れて来なかったのか」
  - ・「今まで、その人のように話した人はいません」
- ・下役たちをいさめるファリサイ派
  - ・「議員やファリサイ派の人々の中に、あの男を信じた者がいるだろうか。」
- ・ニコデモはイエス様の逮捕に異議を唱えた
  - ・「我々の律法によれば、まず本人から事情を聞き、何をしたかを確かめたうえでなければ、判決を下してはならないことになっているではないか。」

# 変えられたニコデモ

## ・イエス様の埋葬にかけつけたニコデモ

・「ピラトが許したので、ヨセフは行って遺体を取り降ろした。そこへ、かつてある夜、イエスのもとに来たことのあるニコデモも、没薬と沈香を混ぜた物を百リトラばかり持って來た。」19:38-39

・ニコデモは人目もはばからず,しかも大量の埋葬品をもってやってきた

## ・新しく(上から)変えられたニコデモ

・「上げられた(十字架)」イエス様を見上げた時,この方が天から来られたことを悟った

・その瞬間に新しく生まれ,議員であることも,ファリサイ派であることもどうでもよくなつた

# 本当のチェンジは「上」から来る

- ・ニコデモはこの世(地)の視点で見ていた
  - ・宗教的熱心や政治的活動によって「神の国」を築こうと努力していた(社会を変える)
- ・イエス様は天から来られ、天の視点で見ていた
  - ・神の靈によって新しく生まれる(上からチェンジされる)ことで「神の国」は出現する(自分が変わる)
- ・上げられた(十字架で死なれた)イエス様を見上げた時、ニコデモの視点が上(天)を向いた
  - ・この世を変える前にまず自分が変わらなければならぬ。それがイエス様を信じた時に起こった!

イエス様

ニコデモ



「あなたがたは、恵みにより、信仰(信じて仰ぐ)によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。」 エフェソ2:8